

2019年12月18日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

大切なのは、スポーツの振興——競技の枠を超える、本質を見抜く目 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第87回 川淵 三郎 氏

(日本トップリーグ連携機構会長、大学スポーツ協会顧問)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のお話をもとにスポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を掲載しております。

2020年東京オリンピック・パラリンピックを来年に控えた本年度は、スポーツの変革に挑戦してきた人びとをテーマにインタビューを行っています。このたび、日本トップリーグ連携機構会長を務めておられる川淵三郎氏にご登場いただきます。

サッカー選手として活躍した経歴を持つ川淵氏は、社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)初代チェアマンに就任し、選手の育成・強化およびガバナンスの両面で日本サッカー界を牽引されました。その後、2つに分裂していた日本バスケットボール界を統一し、また、日本トップリーグ連携機構(JTL)会長として、競技団体間の連携を円滑にするなど、組織運営の点からアスリート育成環境を整えられてきました。

競技経験の有無にとらわれることなく、その競技自体の、ひいてはスポーツ全体の振興を考えられる人材を育成し、登用することの大切さを自らの身をもって示した川淵氏。インタビュアーには、産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出させていただきました。

「原動力の根底にあるスポーツへの愛情」川淵 三郎 氏

【公開日時】2019年12月18日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdId/284/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】無縁だったバスケットボール界からの救いを求める声／「日本スポーツ界のために」の思いで奔走／JTL会長就任にこめられた“繰り返してはいけない過去”への思い



《プロフィール》

川淵 三郎(かわぶち さぶろう)氏

1936年生まれ、大阪府出身。視野の広さに裏打ちされた判断力と経験により磨き抜かれた運営スキルを武器に、日本バスケットボール協会会長や日本トップリーグ連携機構会長としてスポーツ界の改革に多大な貢献をする。2019年からは大学スポーツ協会(UNIVAS)顧問も務めている。

佐野 慎輔(さの しんすけ)氏

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、SSF理事/特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス